

教科名 工業

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
工業	実習	4	3年次・H群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
プログラミング技術 （実教出版）		なし		・ハードウェア技術（L群）、プログラミング技術（I群）、ソフトウェア技術（M群）を履修すること。 ・就職または工業系専門学校進学向け。 ・実習機器の取り扱いや操作の方法を習得します。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
・電気工事・シーケンス制御・コンピュータプログラミング・CADに関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させる。 ・自ら学び、自ら考え、自ら判断する能力を育成し、単に技術の習得にとどまらず、視野を広げ望ましい職業観・勤労観を身に付けさせる。		
評価の観点及びその趣旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
・プログラミング技術の教科で学習してきたことが実習を通して体験的に理解でき、自分のものとして習得できている。 ・回路図から実際に配線ができ、実験方法を順序良く安全に配慮して行える。	・実習テーマについて広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を生かして適切に判断し、創意工夫する能力が身に付いている。	・学習活動に積極的に参加している。 ・それぞれのテーマに興味を持ち、諸課題へ関心を高め、その改善、向上を目指して取り組んでいる。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	電気工事	4		
		・複線図について		・単線図から複線図への直し方について理解する。	1 2 3
		・スイッチ、コンセント回路	5	・スイッチ回路、コンセント回路について理解する。	1 2 3
		・他の負荷回路			
		・3路スイッチ回路、4路スイッチ回路	6	・3路スイッチ、4路スイッチの構造を理解する。	1 2 3
	2 学 期	・パイロット回路		・同時点滅、常時点滅、異時点滅について理解する。	1 2 3
		・第2種電気工事士模擬問題	7	・基本的なことを理解したうえで、電気工事士の問題を例に理解を深める。	1 2 3
		・第2種電気工事士模擬問題	9		
		プログラミング実習	10		
		・基本的なプログラム		・プログラムの基本的な構造（順次・選択・繰返し）について課題を通して理解する。	1 2 3
	3 学 期	・応用的なプログラム	11	・構造体・ファイル管理、探索等について課題を通して理解する。	1 2 3
		CAD実習 ・基本操作	12	・CADソフトの基本操作について学習する。	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

		・ 演習問題		・ 操作練習用の単純な図形を描くことにより、効率よく作図する方法を理解する。	1 2 3	
	3 学 期	・ 製図例のトレース	1	・ 図面を描くことにより、実際に役立つ技能を身に付ける。	1 2 3	
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度	
	規 準	・ プログラミング技術等の教科で学習したことが実習を通して体験的に理解でき、自分のものとして習得できているか。 ・ 回路図から実際の配線ができ、実験方法を順序良く安全に配慮して行えているか。		・ 実習テーマについて広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を生かして適切に判断し、創意工夫する能力が身に付いているか。	・ 学習活動に積極的に参加しているか。 ・ それぞれのテーマに興味を持ち、諸課題へ関心を高め、その改善、向上を目指して取り組んでいるか。	
	手 段	・ 課題やレポートの内容 ・ 実習の取組の様子 ・ 制作した作品		・ 質問に対する対応 ・ 制作した作品の状況	・ 作業の姿勢や態度 ・ 課題・レポートの提出	
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
	学習上の留意点		・ 電卓等、机上に必要な用具は必ず準備し、自主的に問題解決に臨むこと。 ・ 授業での理解を確実なものにするために、予習・復習を行うこと。 ・ レポート、課題プリント、製作物等の提出物は期限を厳守すること。			